

## VOCODER VC340

Authentic Analog Vocoder for Human Voice and Strings Ensemble Sounds from the '80s

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

**法的放棄**

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

**限定保証**

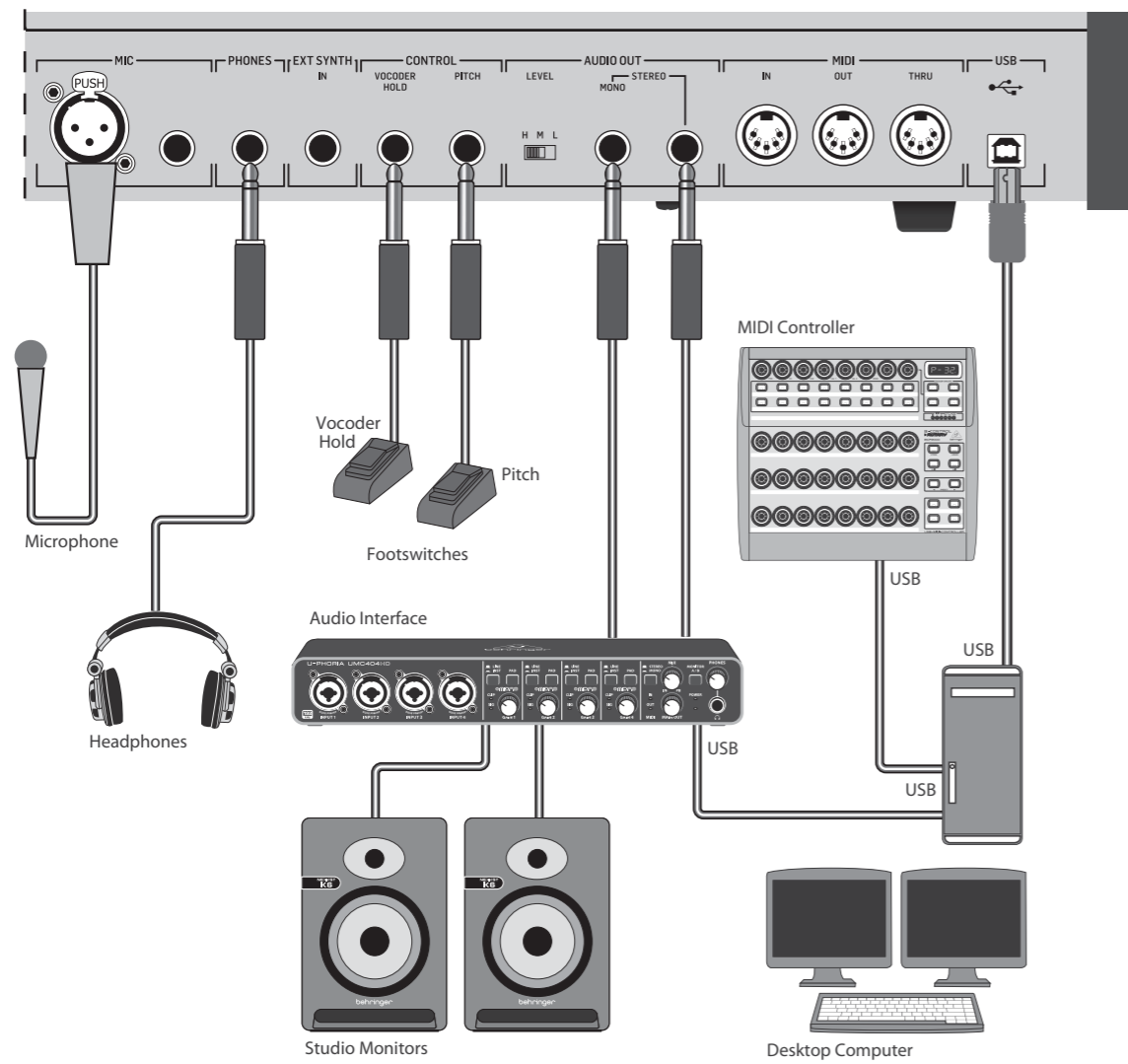
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 [community.musictribe.com/pages/support#warranty](https://community.musictribe.com/pages/support#warranty) にて詳細をご確認ください。

# VOCODER VC340 フックアップ

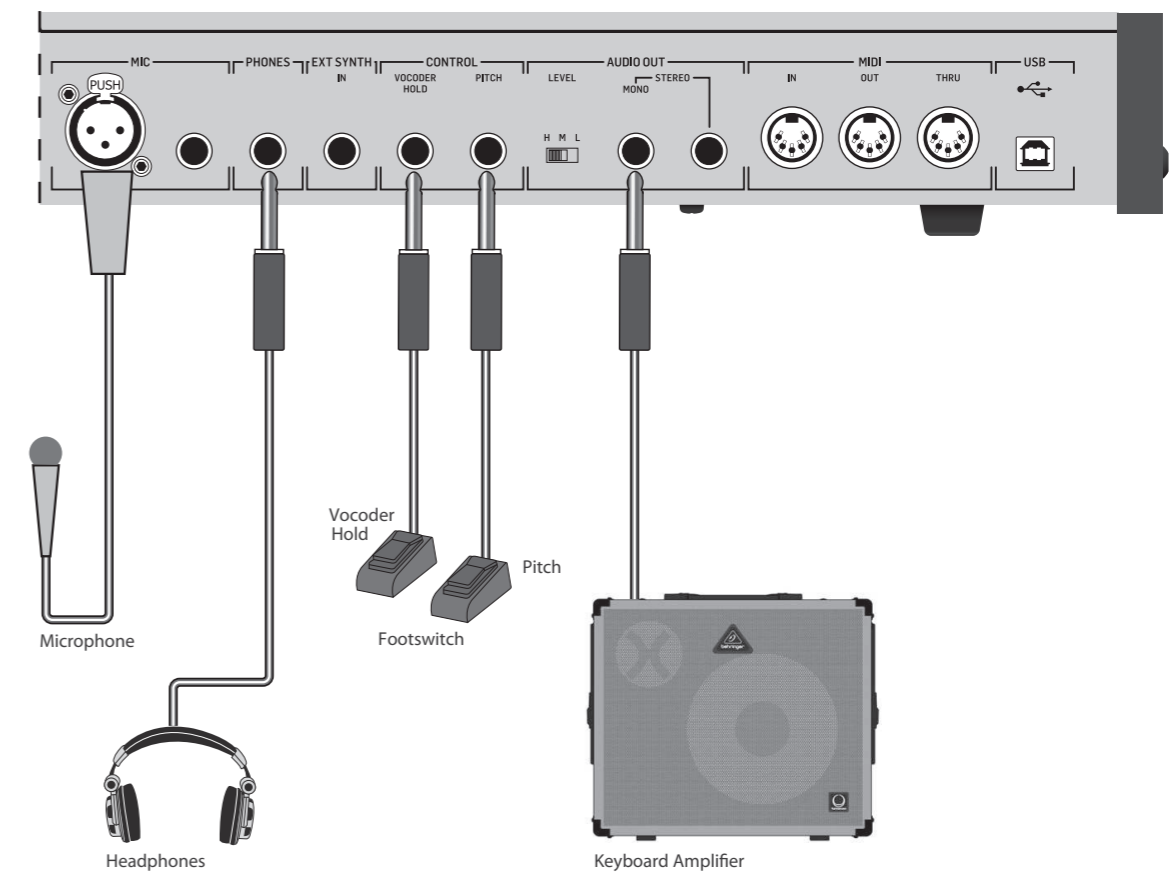
JP

## ステップ 1: フックアップ

スタジオシステム



バンド / 練習システム

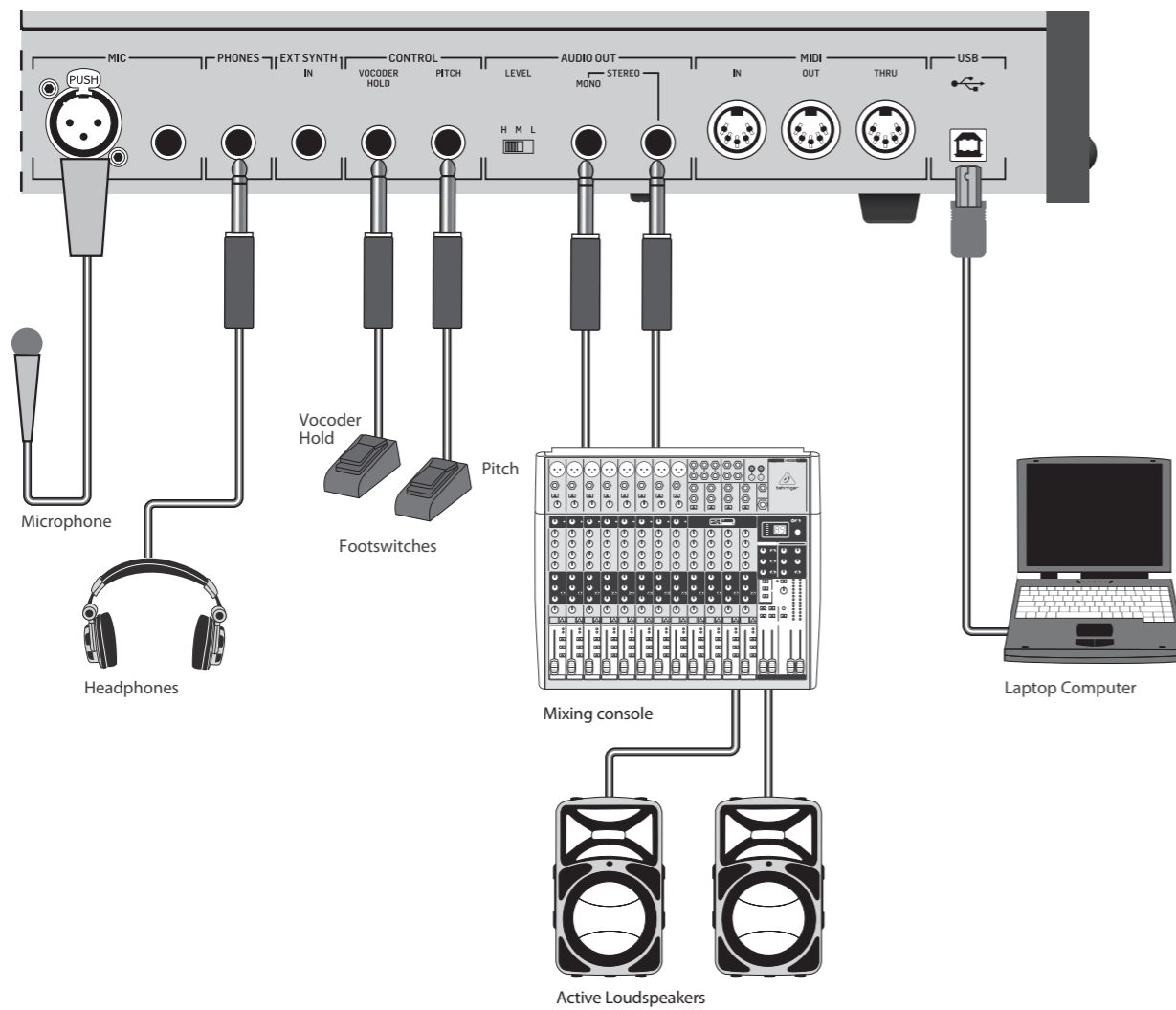


# VOCODER VC340 フックアップ

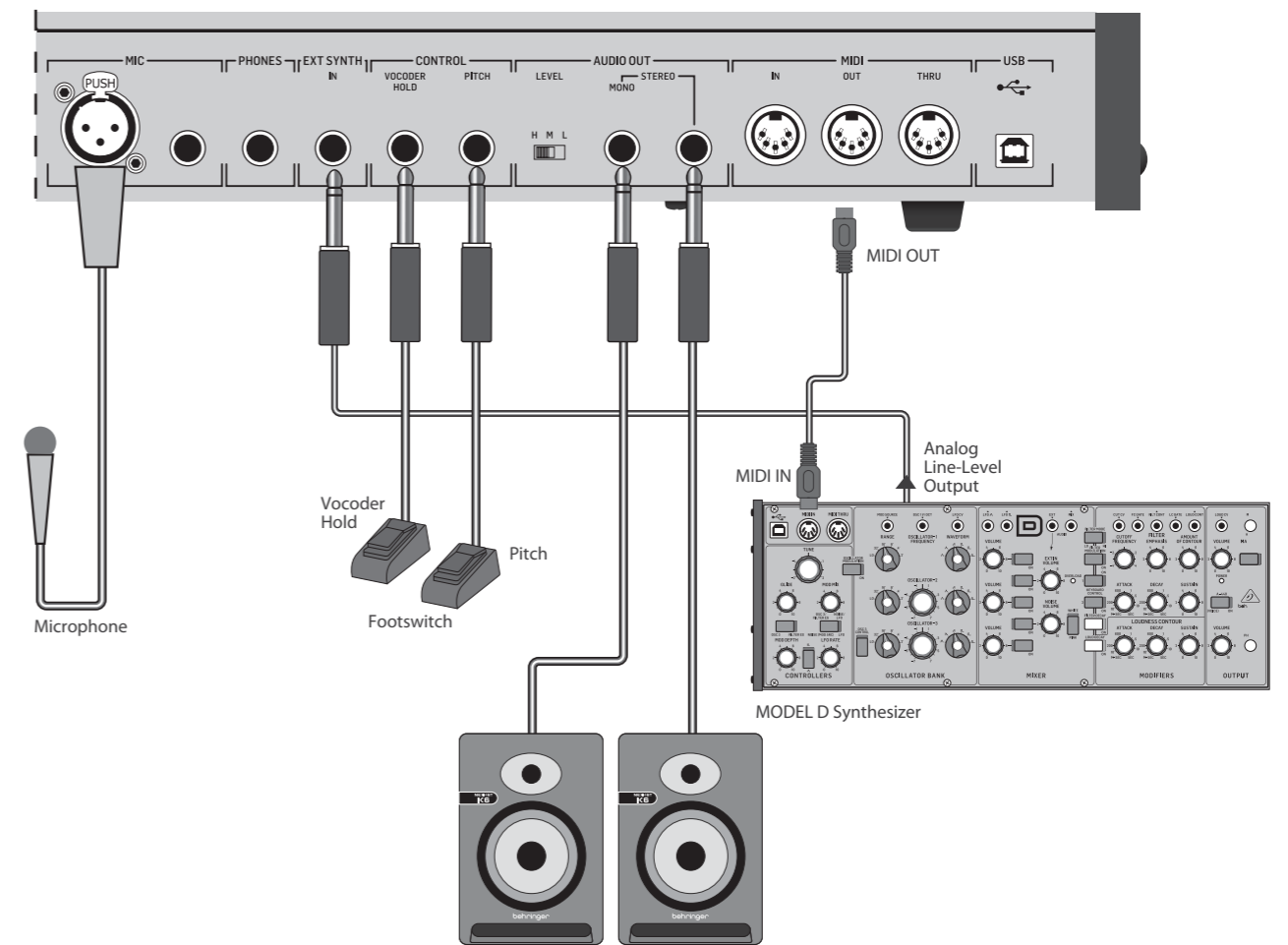
JP

## ステップ 1: フックアップ

ライブシステム

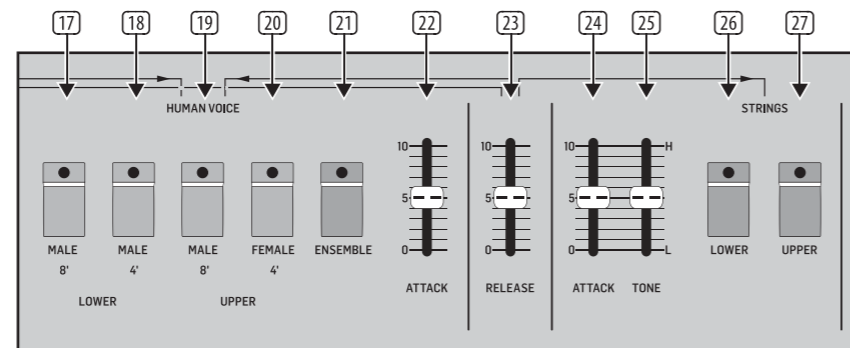
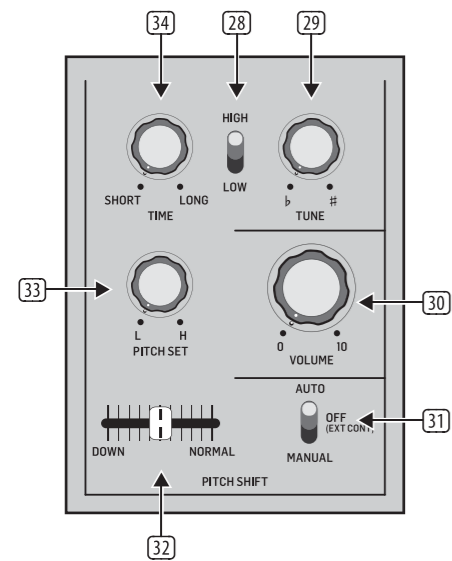
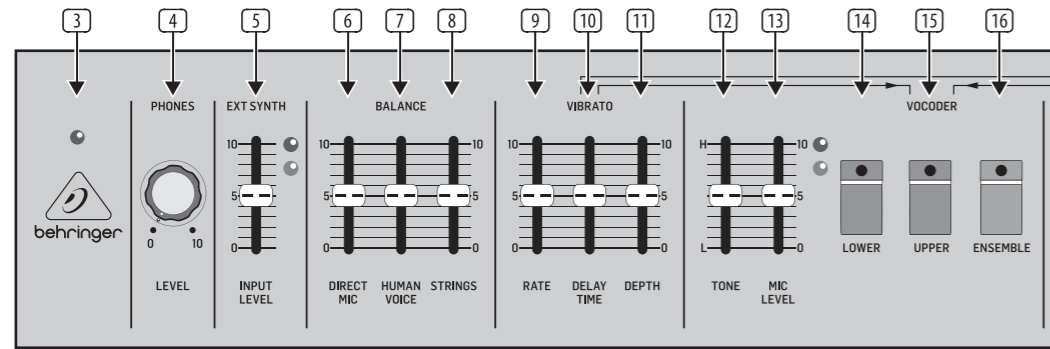
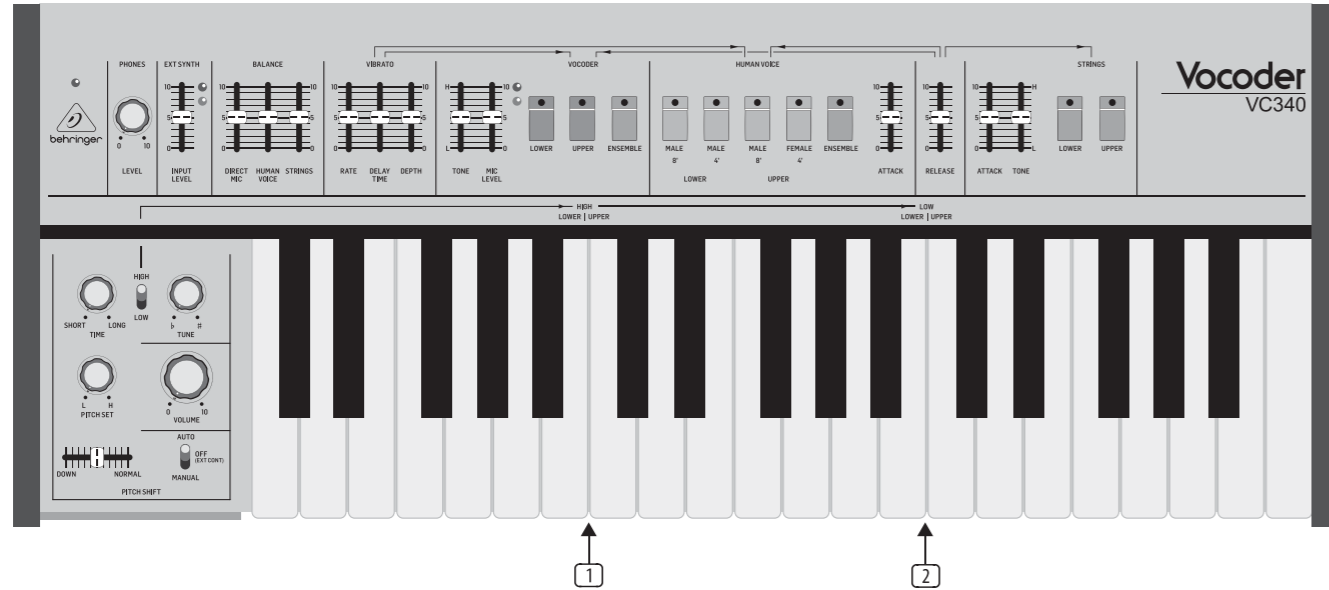


外部シンセサイザーを備えたシステム

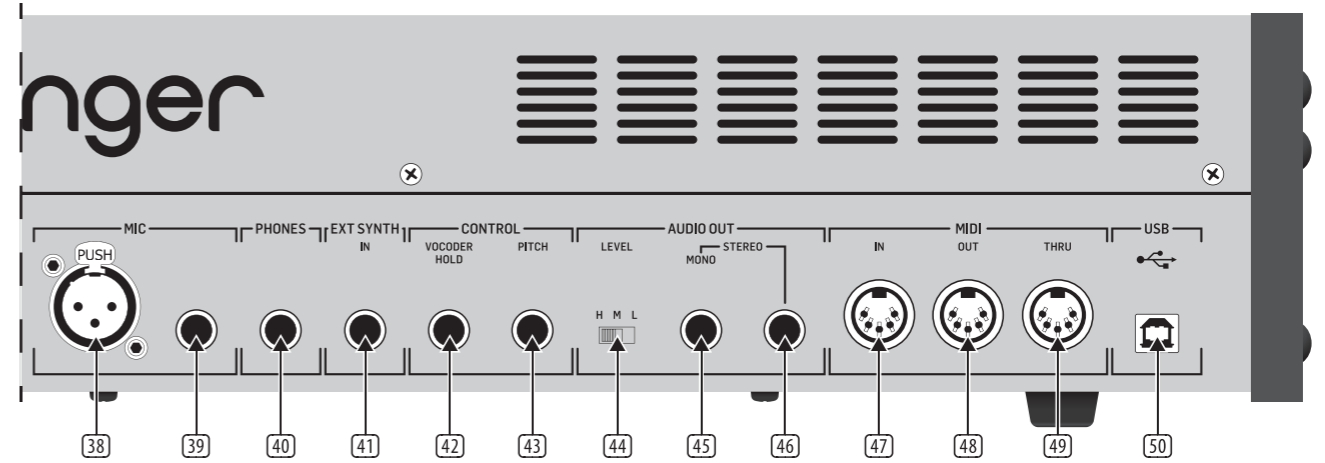
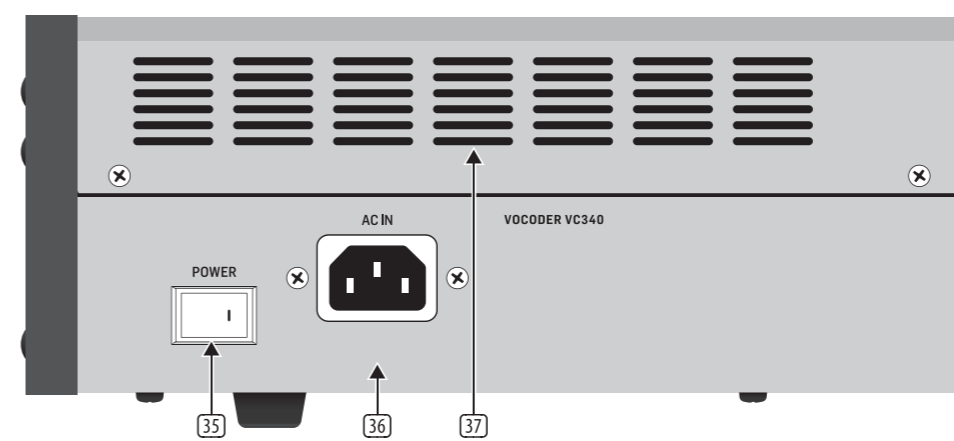


# VOCODER VC340 コントロール

## トップパネル



## 後面パネル



# VOCODER VC340 コントロール

## ステップ 2: コントロール

### キーボード

本機には、オクターブスイッチの「Low/High (オクターブ低/オクターブ高)」設定によっていずれか決定する、2つのキーボードスプリット表示があります。

- HIGH (ハイ)** – 「Octave (オクターブ)」スイッチを「HIGH (オクターブ高)」に設定した時のキーボードスプリット位置です。
- LOW (ロー)** – 「Octave (オクターブ) スイッチ」を「LOW (オクターブ低)」に設定した時のキーボードスプリット位置です。

### 左上部

- 電源 LED** – この LED は、電源に接続した AC アダプターを本機に繋げ、背面の「POWER (電源)」スイッチをオンにすると点灯します。
- PHONES LEVEL (ヘッドフォンレベル)** – 背面パネル「PHONES (ヘッドフォン出力)」の全体的な音量レベルを調節します。聴覚の損傷を避けるため、ヘッドフォンを装着する前にまず本ツマミのレベルを最小にし、徐々に快適なリスニング音量まで上げてください。
- EXT SYNTH LEVEL (外部シンセレベル)** – 背面パネルの外部シンセサイザー入力端子から入力される、オーディオの音量を調節します。入力レベルが高すぎる場合は、赤色の LED が点灯します。

### Balance (バランス部)

各音源の音量バランスを調節する 3 本のフェーダーです。

- DIRECT MIC (ダイレクトマイクレベル)** – ボコーダーが作用してしない、ダイレクトなマイクロフォンボイスの音量を調節します。
- HUMAN VOICE (ヒューマンボイスレベル)** – 「HUMAN VOICE (ヒューマンボイス)」の出力レベルを調節します。
- STRINGS (ストリングスレベル)** – 「STRINGS (ストリングス)」の出力レベルを調節します。

### Vibrato (ビブラート部)

ビブラートは「VOCODER (ボコーダー)」および「HUMAN VOICE (ヒューマンボイス)」に作用します。

- RATE (レート)** – 「VOCODER」および「HUMAN VOICE」を変調させる、低周波オシレーターの周波数を設定します。
- DELAY TIME (ディレイタイム)** – ビブラートが開始するまでの遅延時間を設定します。
- DEPTH (デプス)** – ビブラートエフェクトの深さを設定します。

### Vocoder (ボコーダー部)

マイクロフォンから入力されるオーディオを元に、キーボードでボコーダーを演奏するためのセクションです。「MIC LEVEL (マイクレベル)」フェーダーでマイクロフォンの音量を調節し、お使いのスピーカーシステムからのフィードバックが起きないように、「TONE (トーン)」および「MIC LEVEL」フェーダーを慎重に操作します。マイクロフォン信号の音量は「BALANCE (バランス)」部の「DIRECT MIC (ダイレクトマイク)」フェーダーでも追加できます。

- TONE (音色)** – 「VOCODER (ボコーダー)」部の音色を調節します。
- MIC LEVEL (マイクレベル)** – 背面パネル マイクロフォン入力端子から入力された、マイクロフォン信号のレベルを調節します。マイクロフォン信号の入力信号レベルが高すぎると赤色 LED が点灯します。
- LOWER (低音部)** – キーボードスプリットより低いキーで演奏する際に選択します。
- UPPER (高音部)** – キーボードスプリットより高いキーで演奏する際に選択します。
- ENSEMBLE (アンサンブル)** – ボコーダーにさらなるコーラス効果を創出します (音声を出力するには「UPPER」と「LOWER」スイッチのいずれか、または両方をオンにする必要があります)。

### Human Voice (ヒューマンボイス部)

キーボードで人間の声のシミュレーションを演奏するためのセクションです。レベル調節は「BALANCE (バランス)」部の「HUMAN VOICE」フェーダーでおこないます。「4」「8」といった印は、トレードショナルなドローパーオルガンのリングス調節方式にならったものです (4 は 8 に比べ、1 オクターブ高くなります)。

- LOWER: MALE 8' (低音部: 男性 8')** – キーボードの低音部を選択し、男声のシミュレーションを演奏します。
- LOWER: MALE 4' (低音部: 男性 4')** – キーボードの低音部を選択し、男声のシミュレーションを演奏します。
- UPPER: MALE 8' (高音部: 男性 8')** – キーボードの高音部を選択し、男声のシミュレーションを演奏します。
- UPPER: FEMALE 4' (高音部: 女性 4')** – キーボードの高音部を選択し、女声のシミュレーションを演奏します。
- ENSEMBLE (アンサンブル)** – ボコーダーに、さらなるコーラス効果を創出します (音声を出力するには「UPPER」と「LOWER」スイッチのいずれか、または両方がオンになっている必要があります)。
- ATTACK (アタック)** – 「HUMAN VOICE」部で演奏したノートが最大音量になるまでに要する時間を調節します。「0」に設定すると遅延時間がゼロになり、鍵盤を押すとただちに最大レベルに達します。
- RELEASE (リリース)** – 「VOCODER」「HUMAN VOICE」および「STRINGS」に作用するフェーダーです。演奏したノートが最大音量から減衰する時間を調節します。「0」に設定すると減衰時間がゼロになり、鍵盤から手を離すとただちにサウンドはオフになります。

### Strings (ストリングス部)

キーボードでストリングスのシミュレーションを演奏するためのセクションです。レベル調節は「BALANCE」部の「STRINGS」フェーダーでおこないます。

- ATTACK (アタック)** – 「STRINGS」部で演奏したノートが、最大音量に達するまでの時間を調節します。
- TONE (音色)** – 「STRINGS」部の音色を調節します。
- LOWER (低音部)** – ストリングスシミュレーションの演奏にキーボード低音部を選択します。
- UPPER (高音部)** – ストリングスシミュレーションの演奏にキーボード高音部を選択します。

### 左下コントロール類

- HIGH/LOW (オクターブ高/オクターブ低)** – キーボードの音程に作用します。「HIGH」にするとキーボードの音程が 1 オクターブ上がり、「LOW」にすると 1 オクターブ下がります。
- TUNE (チューン)** – ピッチを上下し、調整します。
- VOLUME (音量)** – 背面パネル メイン出力の音量レベルを調節します。ヘッドフォン出力には作用しません。ユニットの電源を入れる前に最小レベルに絞りを、その後、徐々に快適なリスニング音量まで上げてください。

### Pitch Shift (ピッチシフト部)

- AUTO (自動)** – ノート演奏時、自動的にピッチが増大します。「TIME (タイム)および「PITCH SET (ピッチ設定)」ノブでタイミングおよびピッチシフト幅を調節します。
- OFF (オフ)** – 外部ペダルを押さない限り、ノート演奏時の自動的なピッチ増大は生じません。
- MANUAL (手動)** – ノート演奏時、「DOWN/NORMAL (ダウン/ノーマル)」フェーダーを使用して、ピッチシフトができます。
- DOWN/NORMAL (ダウン/ノーマル)** – 水平方向のフェーダーで、隣接するスイッチを「MANUAL (手動)」に設定している時に使用すると、手動でピッチシフトができます。ピッチシフトレンジは「PITCH SET (ピッチ設定)」ノブで設定します。
- PITCH SET (ピッチ設定)** – ピッチシフトを開始する音程を調節します。
- H 側:** ピッチシフトしません。
- L 側:** ピッチシフトが最大となります。
- TIME (タイム)** – ピッチシフトが開始するまでの時間を調節します。「MANUAL」モードでは 効果は生じません。

### 背面パネル

- POWER (電源スイッチ)** – すべて必要な接続を行ってから、このスイッチをオンにします。本機使用中に電源スイッチに手が届きやすいよう、設置にご配慮ください。
- AC IN (AC 入力)** – 100 ~240 VAC、50/60 Hz に対応した AC 電源に接続します。必ず付属の電源コードをご使用ください。
- VENTILATION (換気スロット)** – 換気スロットから取り込まれる空気の流れにより、内部回路を冷却します。換気スロットはいずれも塞がないようにしてください。
- MIC (XLR マイクロフォン入力)** – ボコーダーで使用するマイクロフォンを接続します。ファンタム電源を必要とするマイクロフォンはご使用になれません。1 度に使用できるマイクロフォン入力はいずれか一方のみです。
- MIC (TRS マイクロフォン入力)** – ボコーダーで使用するマイクロフォンを接続します。
- PHONES (ヘッドフォン出力)** – ステレオヘッドフォンを接続します。トップパネルの「PHONES LEVEL (ヘッドフォン音量)」(4)ノブが下がっていることを確認してからヘッドフォンを装着し、その後安全なリスニング音量まで上げてください。
- EXT SYNTH IN (外部シンセサイザー入力)** – この入力端子は、シンセサイザーなど外部機器のラインレベル オーディオ出力との接続に使用します。入力レベルは、トップパネルの「EXTSYNTH (外部シンセサイザー)」(5) 入力レベルフェーダーで調節します。
- VOCODER HOLD (ボコーダーホールド)** – 標準的なフットペダルスイッチを接続すると、ボコーダーの有効/無効を簡単に切り替えられます。
- PITCH (ピッチシフト)** – 標準的なフットペダルを接続すると、ピッチシフト効果をオン/オフできます。ピッチシフトスイッチ (31) の位置は必ず「OFF (オフ)」外部コントロール) にしてください。
- L/M/H スイッチ** – 3 段階の出力レベル「Low (低)」、「Medium (中)」または「High (高)」から、お使いのシステムに最も適したものを選択します。たとえば、「Low」はミキサーチャンネル入力との接続に使用し、「High」はラインレベル入力に、もう少し低いレベルの方が適していれば「Medium」を使用するなどです。
- MONO (モノラル) 出力** – アンプリファアまたはパワードスピーカー 1 台、もしくはミキサーチャンネル等の接続に使用する出力端子です。VOCODER VC340 の内部チャンネル 2 つを統合し出力します。
- STEREO (ステレオ) 出力** – VOCODER VC340 をステレオシステム、たとえば 2 チャンネルアンプリファア、パワードスピーカー 2 台、2 つのミキサーチャンネル等に接続する場合、この出力端子と「Mono (モノラル)」出力を使用します。
- MIDI (MIDI 部)**
  - MIDI IN (MIDI 入力)** – MIDI キーボード、外部ハードウェアシンセサイザー、MIDI インターフェイス装備のコンピューターほか、外部音源からの MIDI データを受信する、5 ピン式 DIN ジャックです。
  - MIDI THRU (MIDI スルー)** – MIDI 入力から受信した MIDI データを、そのまま他の機器へパススルーします。
  - MIDI OUT (MIDI 出力)** – VOCODER VC340 で生成した MIDI データを、外部シンセサイザーや MIDI インターフェイス装備のコンピューターなど、別の MIDI 機器に送信する端子です。
  - USB ポート** – コンピューターと接続するための USB B タイプジャックです。VOCODER VC340 はクラスコンプライアント USB MIDI 機器ですので、MIDI 入出力に対応します。
  - USB MIDI 入力** – アプリケーションからの MIDI データを受け入れます。
  - USB MIDI 出力** – MIDI データをアプリケーションに送ります。

# VOCODER VC340 はじめに

## ステップ 3: はじめに

### 概要

本スタートアップガイド は、VOCODER VC340 アナログシンセサイザーのセットアップ方法について解説し、また機能についても簡潔にご紹介します。

### 接続

VOCODER VC340 をお使いのシステムに接続する際は、本マニュアル冒頭の接続例をご参照ください。

### ソフトウェア セットアップ

VOCODER VC340 は USB クラスコンプライアント MIDI 機器のため、ドライバのインストールは不要で、Windows および MacOS で使用するためのドライバも特に必要ありません。

### ハードウェアセットアップ

1. システム内の接続をすべて完了します。
2. 必ず付属の IEC 電源コードを使用して、VOCODER VC340 を電源に接続します。
3. メイン音量ノブが下がっており、お使いのアンプリファーまたはパワードスピーカーの電源がオフになっていることをご確認ください。
4. 背面パネルの電源スイッチをオンにしてから、システムの他の機器の電源もオンにします。

### UPPER/LOWER (高音部/低音部)

キーボードスプリットは 2 箇所、トップパネルに「HIGH」「LOW」と表記されており、オクターブスイッチの「HIGH/LOW」の設定によって、スプリット位置が決まります。「UPPER (高音部)」スイッチを「ON (オン)」にすると、スプリットより上の鍵盤が演奏できます。「LOWER (低音部)」スイッチを「ON」にすると、スプリットから下の鍵盤が演奏できます。

### 初期セットアップ (ストリングス)

次に「STRINGS (ストリングス)」部を例にとって初期セットアップを解説します:

1. 「STRINGS」部の「UPPER」と「LOWER」の両スイッチをオンにします。
2. 「BALANCE (バランス)」部の「STRINGS」フェーダーを上げます。
3. キーボードを演奏しながら「VOLUME (音量)」および外部機器の設定を調節し、安全なリスニング音量に設定します。
4. 「ATTACK (アタック)」フェーダーを使用して、鍵盤を押してから最大音量になるまでの時間を調節します。
5. 「RELEASE (リリース)」フェーダーを使用し、鍵盤を放してから音量が減衰する時間を調節します。このフェーダーは「HUMAN VOICE (ヒューマンボイス)」および「VOCODER (ボコーダー)」にも作用します。
6. 「TONE (トーン)」フェーダーを調節します。ヒューマンボイスの付加
7. いずれかの「HUMAN VOICE (ヒューマンボイス)」スイッチを押します。
8. 演奏しながら「BALANCE (バランス)」部にある「HUMAN VOICE」フェーダーを調節します。必要に応じ、「STRINGS (ストリングス)」フェーダーを再度調節してバランスを取ったり、または下げる/オフにするなどします。
9. 「ENSEMBLE (アンサンブル)」など、ほかのスイッチを使って音色を試します。
10. 必要に応じて「HUMAN VOICE」部の「ATTACK (アタック)」フェーダーを調節します。
11. 「STRINGS」部で述べた内容を参照し、「RELEASE (リリース)」フェーダーを調節します。
12. 必要に応じて、3 つの「VIBRATO (ビブラート)」フェーダーを調節し、ヒューマンボイスにモジュレーションを加えます。これらのフェーダーは「VOCODER」にも作用します。

### ダイレクトマイクロフォンの追加

13. マイクロフォンをオンにし、歌ったり喋ったりしながら、ボコーダーの付加されていないダイレクトな声が聞こえるようにします。ダイレクトボコーカルは、鍵盤を弾かなくても聞くことができます。
14. 隣接する赤色 LED がレベル超過で点灯しないように気をつけながら、「VOCODER (ボコーダー)」部の「MIC LEVEL (マイクレベル)」フェーダーを調節します。
15. 「BALANCE (バランス)」部の「DIRECT MIC (ダイレクトマイク)」フェーダーを調節し、必要に応じて「STRINGS」および「HUMAN VOICE」フェーダーも調節します。

### ボコーダーの使用

16. 「VOCODER」部の「UPPER (高音部)」および「LOWER (低音部)」スイッチをオンにします。
17. マイクロフォンのスイッチをオンにして、歌ったり喋ったりします。
18. 「DIRECT MIC」「STRINGS」および「HUMAN VOICE」の各フェーダーを下げます。
19. 「VOCODER」部の「MIC LEVEL」フェーダーを、隣接する赤色 LED がレベル超過で点灯しないように気をつけながら調節します。
20. キーボードを演奏しながら、歌い / 喋り、「VOCODER」からの出力を聞きま (歌いも喋りもせずに演奏した場合、また「MIC LEVEL」が下がっている場合は、出力されません)
21. 「ENSEMBLE (アンサンブル)」を使って音色の変化を試します。
22. スピーカーからのフィードバックを避けるため、「VOCODER」部の「TONE (トーン)」フェーダーを調節し、また「MIC LEVEL」も再度調節します。
23. 必要に応じて、3 つの「VIBRATO (ビブラート)」フェーダーを調節し、ボコーダーにモジュレーションを付加します。これらのフェーダーは「HUMAN VOICE」にも作用します。
24. ストリングスやヒューマンボイスを付加したい場合は、「BALANCE」部の各フェーダーを調節してください。

### クイックスタートガイド 13

ボコーダーホールドペダルフットスイッチを背面パネル「VOCODER HOLD (ボ

コーダーホールド)」入力に接続すると、「VOCODER (ボコーダー)」の有効/無効を切り替えることができます:

25. 歌いながら演奏し、ボコーダーボコーカルが聞こえる時に、フットスイッチを長押しします。
26. フットスイッチをリリースすると、ボコーカルがオフになります。

### ボコーダーと外部シンセサイザーの併用

内部ボコーダー回路ではなく、外部シンセサイザーからオーディオを入力し、ボコーカルに作用させることができます。その際、「VOCODER (ボコーダー)」部の「UPPER/LOWER (高音部 / 低音部)」スイッチの効果はオフになります。

1. 外部シンセサイザーのラインレベルオーディオ出力を、本機背面パネルの「EXT SYNTH (外部シンセサイザー)」入力に接続します。
2. シンセサイザーを演奏しながら、「EXTSYNTH」部の「INPUT LEVEL (入力レベル)」フェーダーを調節し、隣接する赤色 LED が点灯しないよう設定します。
3. 歌ったり喋ったりしながら「VOCODER」部の「MIC LEVEL (マイクレベル)」フェーダーを調節し、隣接する赤色 LED が点灯しないレベルに設定します。
4. キーボードを演奏しながら歌ったり喋ったりすると、外部シンセサイザーのオーディオによるボコーカルの変化を聞き取ることができます。

### ピッチシフト

演奏したノートのピッチを自動 / 手動でシフトしたり、または背面パネルのピッチコントロール コネクターにペダルを接続して選択したりできます。「AUTO/OFF/MANUAL (自動 / オフ / 手動)」スイッチや付近のコントロール類を使用し、ピッチシフト効果を調節します:

### AUTOMATIC (自動)

ノートおよびボコーカルのピッチが自動的に増大します。

「PITCH SET (ピッチ設定)」ノブを使用してピッチを調節します。自動モードでは、ノブの位置を「H」にするとピッチ増大幅が最大になります。そのため、すでにノブの位置が「H」になっている場合は、ピッチシフト効果が生じません。ノブの位置を「L」にすることで、ピッチシフト効果が最大になります。

「TIME (タイム)」ノブを使用し、ピッチシフト効果が開始するまでの時間を設定します。

### OFF/EXT CONTROL (オフ/外部コントロール)

この位置では、オプションの外部フットスイッチを背面パネルの「PITCH SHIFT (ピッチシフト)」端子に接続して操作しない限り、ピッチシフト効果は生じません。

先述の「AUTOMATIC (自動)」と同様にセッティングおよびコントロールをしながらフットスイッチを踏み込むと、ピッチシフトが起こります。フットスイッチをリリースすると、ピッチシフト効果をストップします。

### MANUAL (手動)

「DOWN/NORMAL (ダウン/ノーマル)」フェーダーを使用して、演奏しながら簡単にピッチシフト操作ができます。

「PITCH SET (ピッチ設定)」ノブを使用して、フェーダーのピッチレンジを設定します。例えば: ノブの位置が「H」 - フェーダーを動かしてもエフェクトはかかりません。ノブの位置が「L」 - フェーダーによって最大幅のピッチシフトができます。「MANUAL (手動)」モードでは「TIME (タイム)」ノブを回してもサウンドに作用しません)。

### ファームウェアアップデート

当社ウェブサイト behringer.com をチェックして、VOCODER VC340 シンセサイザーのファームウェアアップデートがあるかどうかをご確認ください。ファームウェアファイルをお使いのコンピューターにダウンロードおよび保存してから、VOCODER VC340 のアップデートにご使用ください。ファルには詳細な解説およびアップデート手順が付属しています。

### さあ、楽しくお使いください。

本マニュアル巻末のパッチシートをコピーし、好みのセッティングを記録しましょう。

本機のコントロール類を操作することで、音楽的創造性が無限に広がります。当社一同、お客様に VOCODER VC340 を楽しくご使用いただけることを心より願っております。

# VOCODER VC340 特別モード

## 速度

キーボードのペロシティは、固定値、またはキーを押す強さによって動的に変化する値に設定できます。次の手順は、速度を変更する方法を示しています。

1. 電源を切ります。
2. 両方の ENSEMBLE スイッチを押しながら電源を入れます。
3. すべての LED が速く点滅する場合、現在の速度は固定値 (127) です。キーを軽く押しでも強く押しでも、音の大きさは変わりません。
4. すべての LED がゆっくり点滅する場合、現在の速度は動的に変化します。キーを軽く押すか強く押すかによって、音の大きさが異なります。
5. 2 つの ENSEMBLE スイッチを放すと、VC340 が現在の設定を保存します。
6. 他の設定に変更するには、手順 1 と 2 を繰り返します。

## MIDI チャンネル

MIDI 送信および受信チャンネル番号は、次の手順を使用して 1~16 から選択できます。

1. 電源を切ります。
2. STRINGS セクションの UPPER スイッチと LOWER スイッチの両方を押しながら、電源を入れます。
3. すべての LED が 3 倍速く点滅し、VC340 が MIDI チャンネル設定モードになっていることを示します。
4. STRINGS スイッチを放します。
5. 最初に MIDI RX チャンネルを設定するには、OCTAVE スイッチを HIGH に設定します。
6. 8 つの VOCODER および HUMAN VOICE スイッチは、次のようにチャンネル番号を選択するために使用されます。
7. STRINGS LOWER スイッチが選択されている場合、8 つのスイッチはチャンネル番号 1 から 8 を表します。
8. STRINGS UPPER スイッチが選択されている場合、8 つのスイッチはチャンネル番号 9~16 を表します。
9. 必要なチャンネル番号を選択します。
10. MIDI R チャンネルを ALL に設定するには、両方の ENSEMBLE スイッチを押し続けます。(これは RX でのみ使用できるため、VC340 はすべてのチャンネルから着信 MIDI を受信できます。)
11. MIDI TX チャンネルを選択するには、最初に OCTAVE スイッチを LOW に設定し、上記の手順 6~9 を繰り返します。

12. 終了するには、STRING SUPPER スイッチと LOWER スイッチの両方を同時に押しします。チャンネル番号が保存され、VC340 は通常の動作に戻ります。

## 例

MIDI RX をチャンネル 3 に設定するには:

13. OCTAVE スイッチ HIGH
14. 下の文字列
15. VOCODER ENSEMBLE スイッチがオン
16. STRING SUPPER と LOWER を同時に押し、終了します

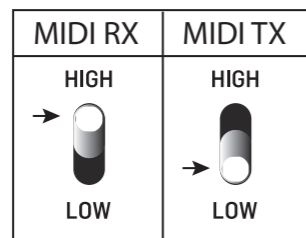
MIDI TX をチャンネル 10 に設定するには:

17. OCTAVE スイッチ LOW
18. スtringスアッパーオン
19. VOCODER UPPER スイッチ ON
20. STRING SUPPER と LOWER を同時に押し、終了します

MIDI RX を ALL に設定するには:

21. OCTAVE スイッチ HIGH
22. 両方の ENSEMBLE スイッチを同時に押しします。8 つの LED がすべて点灯します。
23. STRING SUPPER と LOWER を同時に押し、終了します

## MIDI チャンネル番号の選択



MIDI RX チャンネルを調整するときに HIGH に設定する

MIDI TX チャンネルを調整するときは LOW に設定してください

| Vocoder               |                       |                       | Human Voice           |                       |                       |                       |                       | Strings                          |                                  |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input checked="" type="radio"/> | <input type="radio"/>            |
| 1                     | 2                     | 3                     | 4                     | 5                     | 6                     | 7                     | 8                     | ON                               |                                  |
| LOWER                 | UPPER                 | ENSEMBLE              | MALE                  | MALE                  | MALE                  | FEMALE                | ENSEMBLE              | LOWER                            | UPPER                            |
|                       |                       |                       | 8'                    | 4'                    | 8'                    | 4'                    |                       |                                  |                                  |
| <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/>            | <input checked="" type="radio"/> |
| 9                     | 10                    | 11                    | 12                    | 13                    | 14                    | 15                    | 16                    |                                  | ON                               |
| LOWER                 | UPPER                 | ENSEMBLE              | MALE                  | MALE                  | MALE                  | FEMALE                | ENSEMBLE              | LOWER                            | UPPER                            |
|                       |                       |                       | 8'                    | 4'                    | 8'                    | 4'                    |                       |                                  |                                  |

# VOCODER VC340 情報

## システム専用コマンド

一部のパラメーターは、MIDI システムエクスクルーシブ (SysEx) コマンドを使用して変更できます。MIDI OX などの MIDI ユーティリティを使用すると、USB MIDI 接続を使用して SysEx コマンドデータ文字列をコンピューターから VOCODER VC340 に送信できます。これらのコマンドを手動で送信するか、当社の Web サイトから無料でダウンロードできる Behringer SynthTool アプリを使用できます。

## SysEx データ形式

| FO | Manu ID | Model ID | D1 | ... | Dn | F7 |
|----|---------|----------|----|-----|----|----|
|----|---------|----------|----|-----|----|----|

マナー ID: 00 20 32, Behringer GmbH

モデル ID: 00 01 07, Behringer Vocoder VC340

D0-Dn: 構成のデータ。範囲は 00~7F です。

## MIDI チャンネル

| FO | Manu ID | Model ID | 0E | 01 | Data1 | Data 2 | F7 |
|----|---------|----------|----|----|-------|--------|----|
|----|---------|----------|----|----|-------|--------|----|

| Data  | Description     | Range  | Default      |
|-------|-----------------|--|--------------|
| Data1 | MIDI TX channel | 00 to 0F                                       | 00-Channel 1 |
| Data2 | MIDI RX channel | 00 to 0F: channels 1 to 16<br>10: all channels | 00-Channel 1 |

例: MIDI TX チャンネルを 14 に設定し、RX チャンネルを 13 に設定します: F0 00 20 32 00 01 07 0E 01 0D 0CF7。データが範囲外の場合、対応する設定は無視されます。だからあなたが MIDI TX チャンネルを変更したいが、RX チャンネルを変更したくない、SysEx は次のように送信できます: F0 00 20 32 00 01 07 0E 01 09 7FF7。

## Transpose

| FO | Manu ID | Model ID | 0F | Data1 | F7 |
|----|---------|----------|----|-------|----|
|----|---------|----------|----|-------|----|

| Data  | Description    | Range  | Default         |
|-------|----------------|--|-----------------|
| Data1 | Note transpose | 00 to 18 (The transpose range is -12 to +12) | 0C-No transpose |

例: 音符の移調を +8 に設定します: F0 00 20 32 00 01 07 0F 14 F7

## Velocity

| FO | Manu ID | Model ID | 10 | Data1 | Data2 | Data 3 | F7 |
|----|---------|----------|----|-------|-------|--------|----|
|----|---------|----------|----|-------|-------|--------|----|

| Data  | Description       | Range   | Default |
|-------|-------------------|---|---------|
| Data1 | Note on velocity  | 00: dynamic velocity<br>01-7F: is a fixed value of velocity | 00      |
| Data2 | Note off velocity | 00: dynamic velocity<br>01-7F: is a fixed value of velocity | 00      |
| Data3 | Velocity curve    | 00-soft, 01-med, 02-hard                                    | 01-med  |

例: ノートオンペロシティをダイナミックに設定し、ノートオフペロシティを固定値 64 に設定し、カーブをハードに設定: F0 00 20 32 00 01 07 10 00 64 02 F7。

## 出力レベル制御

ペロシティインペールによって出力レベルが制御されている場合、各ノートのラウドネスは次のようになります。ペロシティの影響を受けるか、最大のラウドネスで動作します

| FO | Manu ID | Model ID | 18 | Data1 | F7 |
|----|---------|----------|----|-------|----|
|----|---------|----------|----|-------|----|

| Data  | Description                    | Range                | Default    |
|-------|--------------------------------|----------------------|------------|
| Data1 | Set loudness enable or disable | 00-disable 01-enable | 00-disable |

例: ペロシティインペールによって制御される出力レベルを設定します: F0 00 20 32 00 01 07 18 01F7。

## 工場出荷時の設定に戻す

| FO | Manu ID | Model ID | 7D | F7 |
|----|---------|----------|----|----|
|----|---------|----------|----|----|



# 技術仕様

## シンセサイザーアーキテクチャ

|    |      |
|----|------|
| 実装 | アナログ |
|----|------|

## キーボード

|    |                    |
|----|--------------------|
| キー | 37 個のセミウェイトフルサイズキー |
|----|--------------------|

|            |          |
|------------|----------|
| キーボードセンシング | 速度に関する注意 |
|------------|----------|

## 左上のセクション

|       |                |
|-------|----------------|
| フェーダー | 外部シンセサイザー入力レベル |
|-------|----------------|

|         |          |
|---------|----------|
| ロータリーノブ | ヘッドホンレベル |
|---------|----------|

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 導いた | 電源、外部信号あり、クリップ (赤) |
|-----|--------------------|

## 左下セクション

|       |                 |
|-------|-----------------|
| フェーダー | ピッチシフト: ダウンノーマル |
|-------|-----------------|

|         |                         |
|---------|-------------------------|
| ロータリーノブ | ポリウム、チューン、ピッチセット、ピッチタイム |
|---------|-------------------------|

|      |  |
|------|--|
| スイッチ | キーボードスプリットの選択: 低 / 高、ピッチシフト: 自動 / of (外部制御) / 手動 |
|------|--|

## バランスセクション

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| フェーダー | 直接マイクレベル、人間の声レベル、文字列レベル |
|-------|-------------------------|

## ビブラートセクション

|       |             |
|-------|-------------|
| フェーダー | レート、遅延時間、深さ |
|-------|-------------|

## ポコーダーセクション

|       |              |
|-------|--------------|
| フェーダー | トーン、マイク入力レベル |
|-------|--------------|

|        |            |
|--------|------------|
| スイッチャー | 下、上、アンサンプル |
|--------|------------|

|     |                                |
|-----|--------------------------------|
| LED | マイク信号あり、マイククリップ (赤)、下、上、アンサンプル |
|-----|--------------------------------|

## 人間の声セクション

|       |    |
|-------|----|
| フェーダー | 撃攻 |
|-------|----|

|        |  |
|--------|--|
| スイッチャー | 男性 8' 下、男性 4' 下、男性 8' 上、女性 4 フィートアッパー、アンサンプル |
|--------|--|

|      |  |
|------|--|
| LEDs | 男性 8' 下、男性 4' 下、男性 8' 上、女性 4 フィートアッパー、アンサンプル |
|------|--|

## リリースセクション

|       |                      |
|-------|----------------------|
| フェーダー | リリース (弦、人間の声、ポコーダー用) |
|-------|----------------------|

## デジタルエフェクト

|       |        |
|-------|--------|
| フェーダー | 攻撃、トーン |
|-------|--------|

|        |     |
|--------|-----|
| スイッチャー | 下、上 |
|--------|-----|

|      |     |
|------|-----|
| LEDs | 下、上 |
|------|-----|

## 後面パネル

|      |                            |
|------|----------------------------|
| スイッチ | 電源オン / オフ、出力レベル: 低 / 中 / 高 |
|------|----------------------------|

## 接続性

|                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| MIDI イン / アウト / スルー | 5 ピン DIN / 16 チャンネル |
|---------------------|---------------------|

|     |               |
|-----|---------------|
| USB | USB 2.0、タイプ B |
|-----|---------------|

|           |         |
|-----------|---------|
| ピッチコントロール | 1/4" TS |
|-----------|---------|

|           |         |
|-----------|---------|
| ポコーダーホールド | 1/4" TS |
|-----------|---------|

|         |                        |
|---------|------------------------|
| 外部シンセ入力 | 1/4" TS、不平衡、最大 +12 dBu |
|---------|------------------------|

|        |  |
|--------|--|
| 出力 L/R | 1/4" TS、ステレオまたはモノラル、アンバランス、最大 +14 dBu (高)、+0 dBu (中)、-13 dBu (低) |
|--------|--|

|       |   |
|-------|---|
| ヘッドホン | 1/4" TRS、アンバランス、最大 +12 dBu @ 32 Ohm の負荷 |
|-------|---|

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| マイク入力 | 1/4" TRS、および XLR メス、最大 -3 dBu |
|-------|-------------------------------|

## USB

|     |                      |
|-----|----------------------|
| タイプ | クラス準拠の USB 2.0、タイプ B |
|-----|----------------------|

|                            |                                    |
|----------------------------|------------------------------------|
| サポートされています<br>オペレーティングシステム | Windows 7 以降<br>Mac OS X 10.6.8 以降 |
|----------------------------|------------------------------------|

## 電力要件

|         |               |
|---------|---------------|
| メインコネクタ | 標準 IEC レセプタクル |
|---------|---------------|

|        |        |
|--------|--------|
| 消費電力 1 | 最大 5 W |
|--------|--------|

|               |                            |
|---------------|----------------------------|
| 内部スイッチモード PSU | オートレンジ 100-240V、(50/60 Hz) |
|---------------|----------------------------|

## 環境

|                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| オペレーティング<br>温度範囲 | 5°C – 45°C (41°F – 113°F) |
|------------------|---------------------------|

## 物理的

|                |   |
|----------------|---|
| 寸法 (H x W x D) | 103 x 649 x 257 mm (4.1 x 25.6 x 10.1") |
|----------------|---|

|    |                   |
|----|-------------------|
| 重量 | 6.6 kg (14.5 lbs) |
|----|-------------------|

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 積み込み重量 | 8.4 kg (18.5 lbs) |
|--------|-------------------|

# VOCODER VC340 Patch Sheet

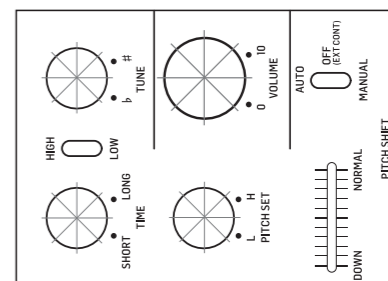
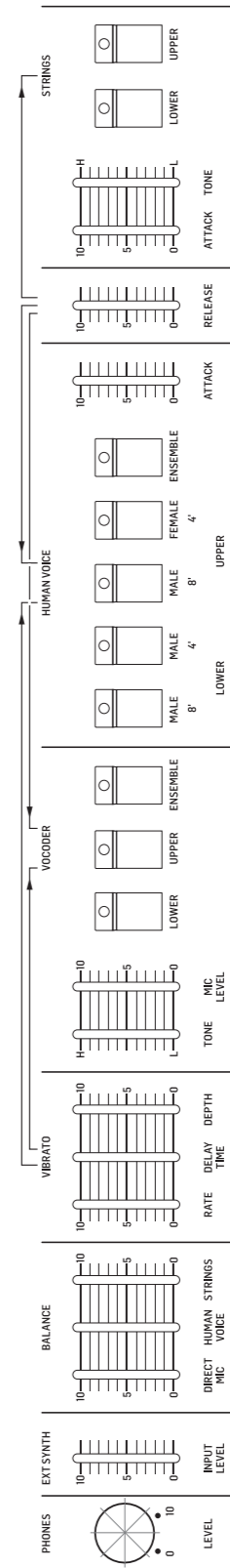
# Patch Number

DATE:

NOTES:

AUTHOR:

TITLE:



## その他の重要な情報

### JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにいるときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You